

これは？

石油はあと40年で枯渇する。

これは？

紙のリサイクルは森林保護になる。

これは？

温暖化は地球にとって悪いことだ。

これは？

バイオマスは将来有望なエネルギーだ。

これは？

環境のためにもゴミを減らすことが大切だ。

これは？

人間の環境破壊によって生物が次々と絶滅している。

演題

環境エネルギー問題とこれからの産業

武田邦彦著「もうだまされない! 「身近な科学」50のウソ」(PHP文庫)より

企業は、経営者は、これらの問題にどう向き合っていけばいいのか？ 武田邦彦が解説する!

さまざまなメディアから発信される

地球環境・エネルギー問題に関わる情報は真実なのでしょうか。

東日本大震災から1年が経過しましたが、なかなか苦境からはいあがれない日本。

今、企業がすべき危機管理のあり方とは……。

近年メディアで引っ張りだこの武田邦彦氏は、実は中部大学の教授です。

あの番組では言えないことや

賛否両論のあの問題をトコトン追究します。



武田 邦彦

Takeda Kunihiko

プロフィール

中部大学 教授(所属:総合工学研究所)

高知工科大学客員教授、多摩美術大学非常勤講師

日本ラッド・取締役

内閣府原子力委員会専門委員、文部科学省科学技術審議会専門委員

名古屋市経営アドバイザー、富山市政策顧問、

日本工学教育協会特別教育士、シニア・創造学院客員教授、青森県鯉ヶ沢町顧問、

(株)ユーテック顧問、富山環境顧問

旭化成工業株式会社・社友、芝浦工業大学・名誉賛助員、名古屋大学高等研究院・院友

日本高分子学会フェロー、第一種放射線取扱主任者

昭和18年(1943)6月3日、東京都生まれ。昭和37年(1962)都立西高等学校卒業・昭和41年(1966)東京大学教養学部基礎科学科卒業。同年旭化成工業(株)に入社、(1986)同社ウラン濃縮研究所長、平成5年(1993)より芝浦工業大学工学部教授を経て、平成14年(2002)より名古屋大学大学院教授、平成19年(2007)より現職。

工学博士、専攻は資源材料工学。東京大学、京都大学、東北大学、横浜国立大学、早稲田大学、立教大学、愛知大学などの非常勤講師、文部科学省中央教育審議会専門委員、工学アカデミー理事、芝浦工業大学評議員、NEDO技術委員、日本工学教育協会常任理事、JABEE工学一般審査委員長、非営利法人「おもしろ科学たんけん工房」「テクノ未来塾」理事などを経験。専門は資源材料工学

主な受賞:日本工学教育協会工学教育賞(倫理)、日本原子力学会平和利用特賞、日本エネルギー学会賞、日本工学教育協会論文・論説賞(創成科目)、マテリアルライフ学会論文賞、資源素材学会発表論文賞、World Materials Day Awardなど。

2012年1月現在

